

環境経営レポート

2023年度版

対象期間 2023年9月～2024年8月

2024年11月20日発行



1. 会社概要

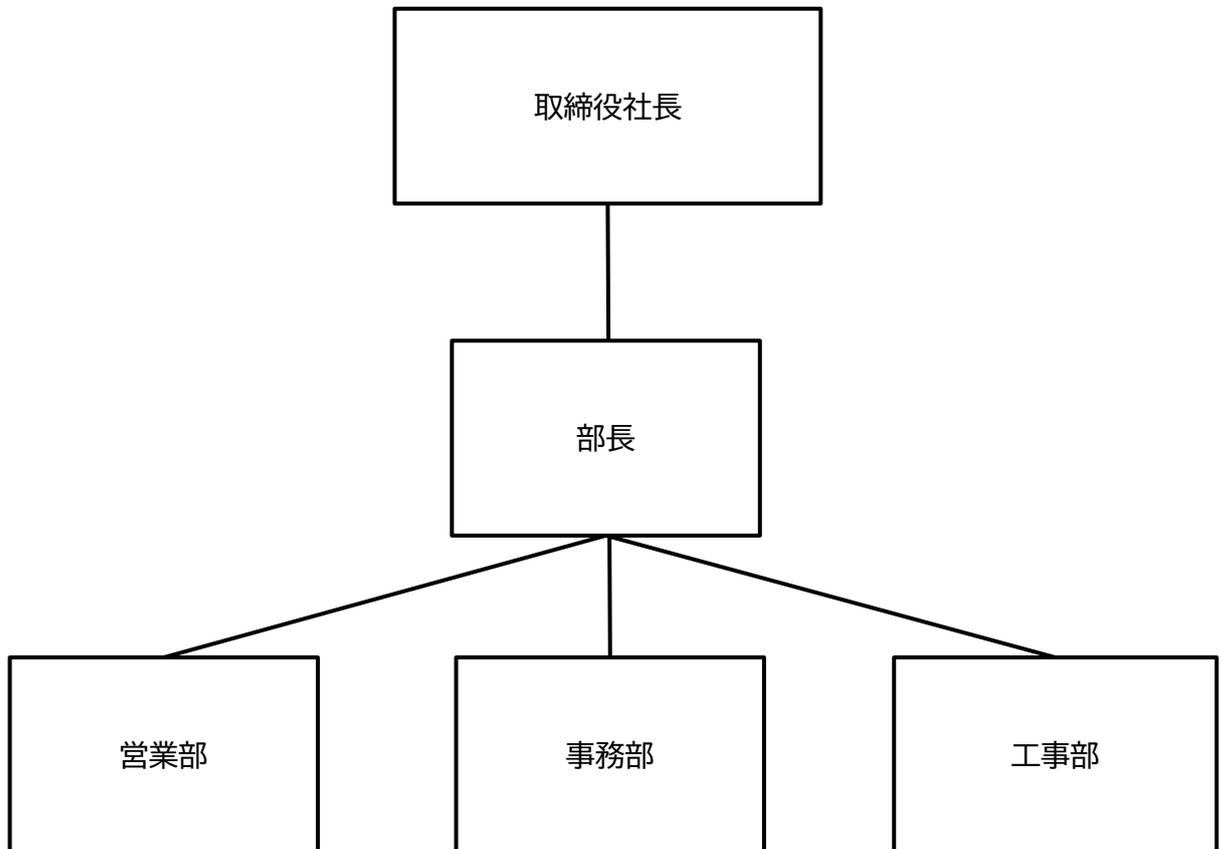
(1) 会社名

株式会社 村上建設

(2) 代表者

代表取締役 村上 亮

(3) 組織図



(4) 創立

1987年12月4日

(5) 資本金

2,000万円

(6) 所在地

本社

〒285-0837 千葉県佐倉市王子台1-21-2

TEL 043-461-8811

FAX 043-489-9850

メール info@1murakami.com

解体事業部資材置場

〒285-0835 千葉県佐倉市畔田897-9

(7) 会社沿革

1987年	有限会社 村上建設 設立
1996年	有限会社より株式会社へ変更
1999年	千葉県公共工事入札参加資格取得 佐倉市公共工事入札参加資格取得
2000年	業務拡大 事業部として建築事業部設立
2005年	特殊肥料生産業者資格取得 廃材(生木)を利用し特殊肥料を生産・販売する
2006年	佐倉市排水設備工事事業者指定取得 業務拡大 事業部として解体事業部設立
2007年	業務拡大 事業部として外構事業部設立 千葉市排水設備工事事業者指定取得 富里市公共工事入札参加資格取得
2010年	特定建設業許可を取得
2011年	小規模産業廃棄物処理施設許可取得
2012年	独立行政法人都市再生機構入札参加資格取得
2014年	千葉県解体工事業協同組合に加入

(8) 事業内容

鉄骨・コンクリート建造物の解体業
木造家屋の解体及び内装の解体業
コンクリート建造物のはつり作業
産業廃棄物の収集運搬業
前各号に付帯関連する一切の業務

(9) 事業規模

売上高	836百万円(2023年度)
従業員	41名(内女性9名)令和5年9月現在
事務所	411.89㎡
中間処理場	3,979㎡ (分別・破碎・焼却・資材置場)

(10) 許認可業務

① 建設業許可	【許可番号】	千葉県知事 許可(特-27)第30325号
	【有効期間】	令和2年6月15日から令和7年6月14日まで
	【建設業の種類】	とび・土工工事業、土木工事業、ほ装工事業、建築工事業、 造園工事業、水道施設工事業、解体工事業

② 産業廃棄物収集運搬業

千葉県

【許可番号】 第01200182287号 【有効期間】 令和7年3月31日

【許可品目】 1. 燃え殻 2. 汚泥 3. 廃油 4. 廃酸 5. 廃アルカリ 6. 廃プラスチック(石綿含有産業廃棄物を含み、自動車等破砕物を除く) 7. 紙くず 8. 繊維くず 9. 動物性残さ 10. ゴムくず 11. 金属くず(自動車等破砕物を除く) 12. ガラスくず 13. コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物を含み、自動車等破砕物を除く) 14. がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む) 15. ばいじん
(これらのうち特別管理産業廃棄物であるものを除く)

東京都

【許可番号】 第13-00-182287号 【有効期間】 令和7年5月21日

【許可品目】 1. 燃え殻 2. 汚泥 3. 廃油 4. 廃酸 5. 廃アルカリ 6. 廃プラスチック類 7. 紙くず 8. 木くず 9. 繊維くず 10. 植物性残さ 11. ゴムくず 12. 金属くず 13. ガラス・コンクリート・陶磁器くず 14. がれき類 15. ばいじん
(石綿含有産業廃棄物を含む)

茨城県

【許可番号】 第00801182287号 【有効期間】 令和7年3月18日

【許可品目】 1. 燃え殻 2. 汚泥 3. 廃油 4. 廃酸 5. 廃アルカリ 6. 廃プラスチック類 7. 紙くず 8. 木くず 9. 繊維くず 10. 植物性残さ 11. ゴムくず 12. 金属くず 13. ガラス・コンクリート・陶磁器くず 14. がれき類 15. ばいじん
(石綿含有産業廃棄物を含む)

① 解体業許可 【許可番号】 千葉県知事 許可(般-2)第30325号
【有効期間】 令和7年6月14日

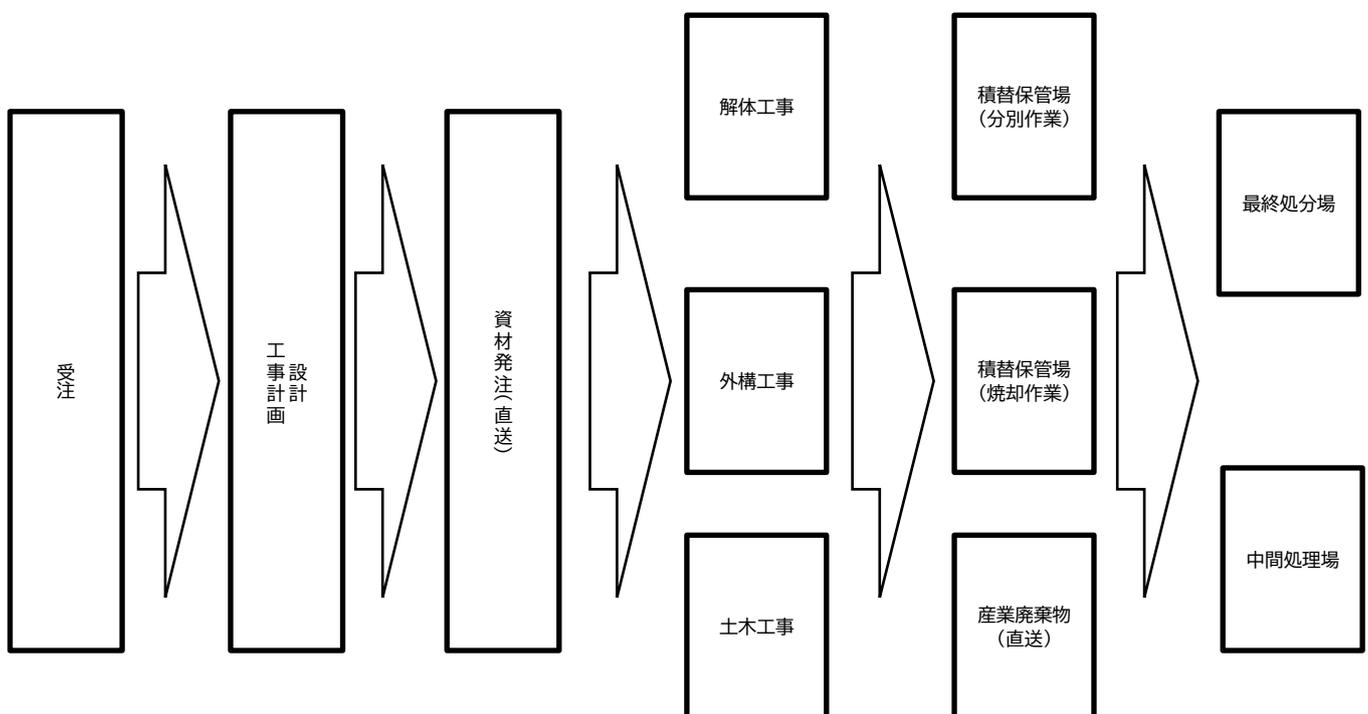
(11) 保有資格

1級土木施工管理技士	3名
1級造園施工管理技士	1名
2級造園施工管理技士	1名
2級土木施工管理技士	5名
2級舗装施工管理技士	1名
2級エクステリアプランナー	1名
解体工事施工技士資格者	6名
建築物石綿含有建材調査者	6名
ブロック塀診断士	1名
監理技術者講習	2名
排水設備工事責任技術者	2名
安全衛生推進者	1名
職長、安全衛生責任者	5名
職長安全衛生者講習	3名
高圧ガス取扱者	1名
大型自動車	8名
大型特殊自動車	3名

けん引免許	1名
木造建築物解体工事作業指揮者安全教育	8名
木造建築物の組立て等作業主任者	4名
コンクリート工作物解体作業主任者	5名
建築物等鉄骨の組み立て特別教育	6名
石綿使用建築物等解体等業務特別教育	2名
石綿作業従事者	17名
石綿作業主任者	6名
酸素欠乏危険作業特別教育	2名
除染等業務に係る特別教育学科講習	1名
粉じん作業特別教育	2名
丸のこ等取扱作業従事者安全教育	3名
浄化槽設備士	1名
甲種防火管理講習	1名
低圧電気取扱者	1名
解体工事施工技士	6名
仮設安全管理者資格	1名
冷媒回収技術者	3名
アーク溶接作業特別教育	2名
ガス溶接技能特別教育	7名
足場の組立て等特別教育	2名
足場の組み立て作業主任者	10名
型枠支保工の組み立て作業主任者	2名
はい作業主任者	2名
土留め支保工作業主任者	4名
地山の掘削作業主任者	
自由研削砥石取り替え特別教育	3名
チェーンソー取扱い	1名
刈払機取扱	1名
危険物取扱	1名
車両系建設機械(整地運搬積込及び掘削用)	13名
車両系建設機械(締め固め用)	2名
車両系建設機械(解体用)	6名
小型車両系(整地等)(3t未満)特別教育	1名
小型移動式クレーン特別技能講習(5t未満)	5名
高所作業車運転特別教育(10m未満)	3名
労働安全衛生法による特別教育修了証(ローラー)	1名
玉掛け作業技能講習	8名
巻き上げ機運転作業	1名
ボーリングマシーン特別教育	1名
振動工具取扱特別教育	1名
フルハーネス型安全帯使用作業特別教育	15名

(12) 保有車両・重機	
営業車(乗用車)	8 台
営業車(軽)	3 台
10tダンプ	1 台
4tダンプ	7 台
3tダンプ	5 台
2tダンプ	3 台
10tキャブオーバ	1 台
2tキャブオーバ	1 台
軽トラック	4 台
モロオカ 自走式粉砕機MC-2000型	1 台
コマツ PC138US-8	1 台
コマツ PC130-6EO	1 台
コマツ PC20MR-2	1 台
コマツ PC228US-3EO	1 台
コマツ PC55MR-3	1 台
コマツ PC40MR-2	1 台
ヤンマー B4U	1 台
コベルコ建機 SK70SRD(解体使用機)	1 台
コベルコ建機 SK60SR	1 台
日立建機 ZX40UR-3	1 台
日立建機 ZX55UR-3(モノブーム使用)	1 台

(13) 工事フロー



(14) 工事代金

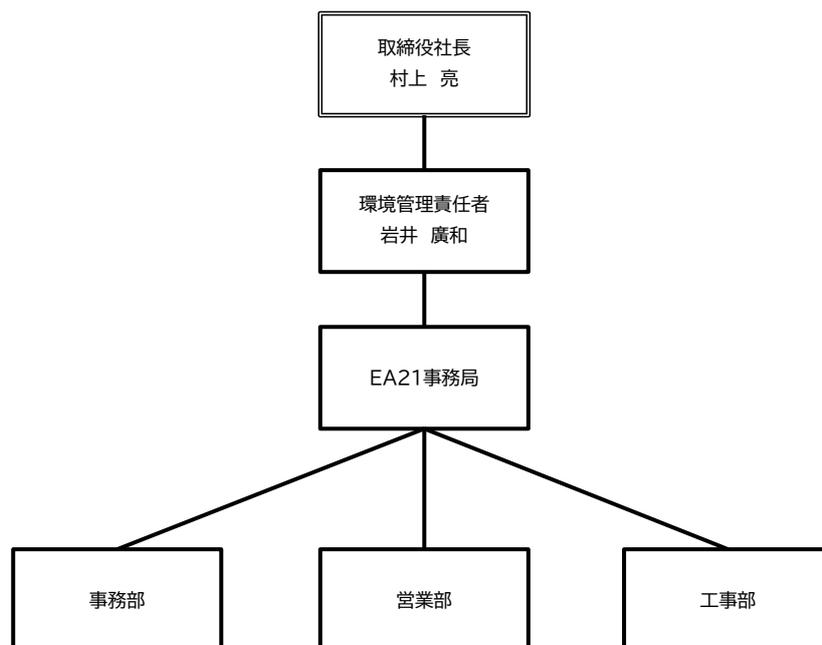
工事代金の見積りは、弊社基準により諸条件を考察し積算しております。窓口は営業部となっております。

(15) 地域融和活動

地域との融合の為、事業所周辺の清掃を実施します。

千葉県解体工事業協同組合主催 ボランティア活動(清掃活動)への参加

(16) 環境管理組織



(17) 環境関係責任者・担当者および連絡先

責任者…環境管理責任者:岩井廣和

TEL…043-461-8811

FAX…043-489-9850

メール…info@1murakami.com

エコアクション21 認証・登録

認証・登録番号 : 0012064

認証・登録年月日 : 2017年11月28日

認証・登録事業者名 : 株式会社村上建設

対象事業所名 : 本社、解体事業部資材置場

所在地 : 千葉県佐倉市王子台1-21-2

事業活動内容 : 解体工事業、土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、ほ装工事業

《 環境経営方針 》

基本理念

株式会社 村上建設は設立当初より『人々が暮らせる環境』をテーマに、環境保全はもちろんの事、資源の再利用・廃棄物の低減化に向けて社員一丸となって取組む解体工事業の事業活動をして参りました。

これまで多くの社会インフラの整備を行ってきたノウハウを活かし今後も循環型社会構築に向け積極的に取り組んで参ります。

その中で、更なる課題として環境改善・地球温暖化防止の重要性を認識し、日々の事業活動を通じて地域の環境保全と安心安全の街作りへの取り組みに寄与するよう努めます。

このため、当社はEA21環境システムを導入し、環境に優しい建設工事を推進し、更なるお客様・発注者の信頼の確保と経営の安定と、人々に『ありがとう』と言って頂ける企業を社員と共に目指し社会に貢献します。

環境経営活動基本方針

基本理念のもとに関係法令を遵守し、次に掲げる項目を自主的、且つ積極的に取り組むとともに、定期的に見直し、環境マネジメントシステムの継続的な改善を行います。

- (1) 事業所の全従業員に周知し、環境マネジメントシステムの理解と定着化を図ります。
- (2) 関連企業(協力会社)に対して環境マネジメントシステムについての啓蒙啓発活動を活動を行います。
- (3) 事務所におけるエコオフィス活動を推進します。
 - ① 事務所を適正に管理し、電気・建設等の使用量の節減に努めます。
 - ② 廃棄物の分別を徹底し、排出抑制と資源化に努めます。
 - ③ グリーン購入を積極的に推進するとともに、コピー用紙等の使用量を節減します。
 - ④ 使用車両のエコドライブに努めます。
- (4) 建設工事においては次の環境活動を実施します。
 - ① 現場における公害対策等に万全を期します。
 - ② 現場における建設副産物の分別を徹底し、資源化の推進と廃棄物の削減に努めます。
 - ③ 省エネと環境に配慮した建設工事を施主様へ提案します。
 - ④ 使用車両および建設重機はエコドライブと環境配慮型建設機械の使用に努めます。
 - ⑤ 工事現場の整理・整頓・清掃に努めます。
 - ⑥ 工事用資材のグリーン購入及びグリーン車検・グリーン整備に努めます。
- (5) 環境活動レポートは一般に公開します。

制定 2017年4月1日

改定 2021年10月1日

株式会社 村上建設

代表取締役 村上 亮

4.環境負荷の実績(2023年度)

環境への負荷		量		CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	割合(%)
エネルギー 使用量	電力 ※	36,800.00	kWh	17,001.60	5.7
	ガソリン	10,174.87	ℓ	23,605.70	7.9
	建設現場等のガソリン		ℓ		
	軽油	100,349.00	ℓ	258,900.42	86.4
	建設現場等の軽油		ℓ		
	灯油		ℓ		
	建設現場等の灯油		ℓ		
	A重油		ℓ		
	都市ガス		m ³		
	液化石油ガス(LPG)	20.00	kg	60.00	0.0
	建設現場等の液化石油ガス(LPG)		kg		
	液化天然ガス		kg		
	合計(エネルギー)			299,567.72	100%
一般廃棄物総排出量	86.00	kg	/		
産業廃棄物総排出量		kg			
中間処理		kg			
うち再資源化量		kg			
最終処分(埋立)量		kg			
再資源化率		%			
産業廃棄物(特別管理)総排出量		kg			
中間処理		kg			
うち再資源化量		kg			
最終処分(埋立)量		kg			
再資源化率		%			
使用量 水	26.00	m ³			
工業用水		m ³			
地下水	39.00	m ³			
化学物質使用量					

※ 電気事業者別二酸化炭素排出係数:

購入電力の二酸化炭素排出係数は、2020年1月7日環境省発表/2018年度の東京電力エネルギーパートナー調整後排出係数(0.462kg-CO₂/kWh)を適用

5、主な環境経営目標(中期3ヶ年)

	環境経営目標項目	基準年実績 (2022年 度)	単位	2023年度		2024年度		2025年度	
				削減等%	目標値	削減等%	目標値	削減等%	目標値
全社	二酸化炭素の削減	276,902	kg-CO2	削減率1.0%	274,164	削減率1.0%	271,529	削減率1.0%	268,843
事務所	ガソリンの節減	10,974	ℓ	削減率1.0%	10,864	削減率2.0%	10,754	削減率3.0%	10,645
	電力の節減	13,102	kWh	削減率0.5%	13,036	削減率1.0%	12,971	削減率1.5%	12,905
	節水	24	m3	維持	24	維持	24	維持	24
	事務所廃棄物の削減	100	kg	維持	100	維持	100	維持	100
	地域環境保全活動	4	回	-	必要の都度	-	必要の都度	-	必要の都度
	環境に配慮した計画・設計の提案	473	件	-	全件提案	-	全件提案	-	全件提案
工事部	軽油の節減	90,995	ℓ	削減率1.0%	90,085	削減率2.0%	89,175	削減率3.0%	88,265
	解体事業部資材置場電力の節減	22,750	kWh	-	-	削減率1.0%	22,523	削減率1.5%	22,409
	環境配慮工事の実施	473	件	-	全件実施	-	全件実施	-	全件実施
	建設リサイクルの推進	473	件	-	全件実施	-	全件実施	-	全件実施
	建設資材のグリーン購入の推進	6	品目	-	推進	-	推進	-	推進
	環境配慮事項の施主への提案	473	件	-	全件実施	-	全件実施	-	全件実施

6. 主な環境経営目標とその実績評価及び次年度の目標・評価及び今後の予定

(1)環境経営目標の設定

事務所、解体部、土木・外構部に分けて環境経営目標を設定しました

(2)環境経営目標と取り組み状況

【事務所】

項目	単位	2022年度	2023年度			評価	今後の予定
		基準値	目標値	実績値	目標値比		
二酸化炭素の削減	kg-CO2	276,902	274,164	299,568	109.3%	目標値よりも上回っているため、引き続き削減に努める。	継続
ガソリンの節減	ℓ	10,974	10,864	10,175	94%	休憩時間の無駄なアイドリングをしないようにしている	継続
電力の節減	kWh	13,102	13,036	12,355	95%	目標値よりも下回っているが、削減が困難なため、引き続き削減を進める	継続
節水	m3	24	24	26	111%	目標値よりも上回っているが、大幅削減が困難なため、引き続き削減を進める	継続
事務所廃棄物の削減	kg	100	100	86	86%	ペーパーレス化と合わせて、自社焼却を行う事で大幅な削減が出来ている。	継続
紙使用量の節減	枚	60,500	59,895	53,000	88%	ペーパーレス化による大幅削減が達成できた。	継続
地域環境保全活動	回	4	必要の都度	4.0	-	引き続き活動を行っていく。	継続
環境に配慮した計画・設計の提案	件	473	全件提案	452	-	引き続き活動を行っていく。	継続

【工事部】

項目	単位	2022年度	2023年度			評価	今後の予定
		基準値	目標値	実績値	目標値比		
軽油の節減	ℓ	90,995	89,175	100,349	113%	従来から意識高く作業をしているが、今後も削減に努めたい	継続
解体事業部資材置場電力の節減	kWh	22,750	22,523	24,445	109%	目標値よりも上回っているが、削減が困難なため、引き続き削減を進める	継続
燃え殻の削減	kg	64,270	63,627	62,990	99%	事業活動に比例する項目なので、引き続き削減活動を継続していく。	継続
環境配慮工事の実施	件	473	全件実施	452	-	低騒音・低振動型の工具、機器を使用し、丁寧な作業をしています	継続
建設リサイクルの推進	件	473	全件実施	452	-	分別の徹底、建設廃材の再資源化を進めています	継続
建設資材のグリーン購入の推進	品目	6	推進	6	-	バージン指定以外は再生品を使用しています	継続
環境配慮事項の施主への提案	件	473	全件実施	452	-	分別の徹底、建設廃材の再資源化を進めています	継続
環境配慮工事の実施	件	473	全件実施	452	-	分別の徹底、建設廃材の再資源化を進めています	継続

7. 2023年度の主な環境経営活動計画の内容と評価、次年度の取り組み内容

(1) 事務所

環境経営目標項目	取 り 組 み	結果	評 価	今後の予定
二酸化炭素の削減	ガソリン・電力・軽油の節減の節減	○	微弱ではあるが、削減に取り組んでいる	継続
ガソリンの節減	①急停車・急発進の抑制	○	各自に削減意識が浸透し、削減目標に近い値での取り組みが出来ている。	継続
	②ふんわりアクセルの実施	○		継続
	③タイヤ空気圧の定期点検の実施	○		継続
	④アイドリングストップの実施	○		継続
	⑤車両整備の実施	○		継続
電力の節減	①室温/冷房28℃以上、暖房20℃以下	○	気温の寒暖差が多くエアコンの使用が増加し未達となりましてが引き続き活動を進めます。	継続
	②照明の小まめなON・OFF	○		継続
	③OA機器は省エネモードと使用时以外はOFF	○		継続
	④照明を省電力型に切り替える(切替時)	○		継続
節水	①節水コマの使用	○	水に関することはこれからも節水に努めます。	継続
	②「節水」の掲示	○		継続
事務所廃棄物の削減	①新聞・雑誌・段ボール等のリサイクル	○	分別を行い資源化しています。	継続
	②ビン・缶・ペットボトルのリサイクル施設への搬入	○		継続
紙使用量の節減	①両面コピーの利用	○	分別を行い資源化しています。	継続
	②裏紙の利用	○		継続
地域環境保全活動	①事務所周りの清掃	○	積極的な清掃・美化活動に取り組めた。	継続
	②解体組合主催の清掃活動への参加	○		継続
	③佐倉市建設業防災協会主催の美化活動への参加	○		継続
環境に配慮した計画・設計の提案	①計画・設計の提案	○	環境に配慮された提案が出来た。	継続
	②顧客への説明	○		継続

(2) 工事部

環境経営目標項目	取 り 組 み	結果	評 価	今後の予定
軽油の節減	①アイドリングストップの実施	○	もともと意識高く作業しています 今後も徹底して節減活動を継続します	継続
	②全開性能での使用抑制	○		継続
	③急停車・急発進の抑制	○		継続
	④ふんわりアクセルの実施	○		継続
解体事業部資材置場電力の節減	①室温/冷房28℃以上、暖房20℃以下	○	気温の寒暖差が多くエアコンの使用が増加し未達となりましてが引き続き活動を進めます	継続
	②照明の小まめなON・OFF	○		継続
燃え殻の削減	①燃焼効率の向上を図る	○	微弱だが削減が見られたので、引き続きとりこんでいく	継続
環境配慮工事の実施	①関係住民への説明	○	低騒音、低振動型の工具等に順次変更して いっています 環境配慮というところに意識を高く持てば 達成していけると思います	継続
	②作業後の5Sの徹底	○		継続
	③防災(防音)タイプの養生シートの使用	○		継続
	④低公害型重機の使用	○		継続
	⑤防音型の工具の使用	○		継続
	⑥作業後の5Sの徹底	○		継続
建設リサイクルの推進	①13分別の徹底	×	経営にも直結しますので少しずつ浸透させて実施してください	継続
	②混合廃棄物の削減	△		継続
	③仮設材などの再利用	○		継続
	④建設廃材の再資源化の推進	○		継続
建設資材のグリーン購入の推進	①再生砕石、再生砂の購入の推進	○	すでに対策済みですが、気を緩めることなく引続きの対応します	継続

8、環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

(1) 次の環境関連法規等の要求事項、遵守状況等を一覧表に取りまとめ確認・評価しました。

1. 建設業法
2. 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)
3. ダイオキシン類特別措置法
4. 労働安全衛生法
5. 建設工事に係る資材の再資源化に関する法律(建設リサイクル法)
6. 再生資源利用省令
7. 指定副産物利用促進省令
8. 特定家庭用機器再資源化法(家電リサイクル法)
9. 使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律(小型家電リサイクル法)
10. 使用済み自動車の再資源化等に関する法律(自動車リサイクル法)
11. 特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(オフロード法)
12. フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)
13. 騒音規制法
14. 振動規制法
15. 消防法
16. 高圧ガス保安法
17. 浄化槽法
18. 道路交通法
19. 道路運送車両法
20. 自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量削減等に関する特別措置法(自動車NO_x・PM法)
21. 国等による環境物品等の調達を推進等に関する法律(グリーン購入法)

(2) 2023年11月20日に遵守状況の確認をしましたが、違反・逸脱はありません。

尚、関係当局より違反などの指摘及び訴訟等は、1975年6月創業以来ありません。

9. 代表者による全体評価と見直し

- ① エコアクション21の活動が6年が経過し、個々の環境への意識向上は図れているが、昨今の社会情勢の影響により経営が厳しくなる事が想定出来るので、可能な限りの削減を図る事により、経費削減に結びつけられる体制作りを整えていく。

10. 次回発行予定日

2025年11月



®環境省

エコアクション21

認定番号0012064

この環境活動レポートは、ご希望があれば差し上げています
ご希望の方は下記事務所窓口までお申し出ください
なお、エコアクション21中央事務局のHPでもご覧になれます
(<http://www.ea21.jp/>)

株式会社

千葉県佐倉市王子台1-21-2

☎ 043-461-8811

☎ 043-489-9850

info@1murakami.com